

2020年度 経営学部入門ゼミ シラバス

(LiveCampus に掲載されるシラバスと実質的に同じものです)

1. 授業のテーマ

愛知大学経営学部の『学び』を学ぼう

2. 概要

はじめに

入門ゼミは、「新型コロナウイルス感染症に係る愛知大学活動制限指針」がレベル1またはレベル2の場合は原則として対面授業、レベル3以上の場合は遠隔(オンライン)授業となります。

原則対面授業という場合もちろん、本人や家族の健康不安等を理由とした自宅での受講が認められます。ただし、演習科目である以上、例えばグループ学習などの議論の場があり得ます。そのような場合、自宅受講者が対面授業参加者と全く同レベルでコミュニケーションを取るのには難しいこともあるでしょう。授業運営で工夫するよう努めますが、埋め切れない差は残ると思います。この点はあらかじめご承知ください。

遠隔授業時(レベル3以上)の授業方法や対面授業時(レベル1~2)の自宅受講の方法については、授業開始後に担当者から説明があります。

新入生の皆さん、半年遅れになりましたが、入学おめでとうございます。

春学期は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により全ての授業がオンライン開講となりました。慣れない環境で友人を作り親しむこともままならず、不安の中で日々黙々と画面に向かって学修した3か月は、さぞ大変だったろうと思います。

さて、全てが大変すぎて気づかなかったかもしれませんが、今あらためて振り返ると、大学の勉強は高校までのものと違うな、と感じたことがあるのではないのでしょうか。高校までは「~を解け」や「~を選べ」など「問題」が明白で、しかも「正解」はただ一つに決まっていました。正解の導き方も限られたものでした。

春の授業ではこのような問いも多かったと思いますが、「何を聞かれているの?」「要するに答えは何?」と感じたこともあったのではないのでしょうか。大学では文脈の中から問題を自分で見つけ、定義せねばならないことも多いのです。その上、正解は様々という問題、正解はよく分からないという問題も多く存在します。高校までは「解き方」を学び、大学では「考え方」を学ぶと言えましょう。「学び」の中身が根本的に違うのですから、勉強方法も違うのです。

では、学びモードを大学版にきちんと切り替えておくにはどうすればよいのか。入門ゼミは、このような問いに答えるヒントが多く得られる授業です。クラス編成は少人数なので、教員の目が隅々まで行き届きます。担当教員は皆さんのよい相談相手となってくれるでしょう。将来こんな仕事に就きたいのだが、そのためにはどうすればいいのだろうか、きちんと4年間で卒業できるのだろうかなど、勉強以外の相談をしても大丈夫です。もちろん、友達作りの場としても非常に有効でしょう。多くの学生が入門ゼミを履修することを期待しています。

内容をもう少し具体的に書けば、テーマは担当者の専門を活かしたものになりますが、どのゼミでも大学での学びに最低限必要な、論文やレポートを「書くこと」、人の話を注意深く「聴くこと」、自分の意見を正しく「話すこと」を学びます。議論には積極的に参加しましょう。他人との交流という経験を通じて、先述の能力が身に付いていきます。消極的でも教員が強制参加させることと思いますが、最終的には自発的な参加、すなわち大学モードへの切り替えができるよう、自己改革を心掛けてください。

「新型コロナウイルス感染症に係る愛知大学活動制限指針」が許す場合に限りませんが、クラスによっては大学での勉強に不可欠な図書館の利用法を体験的に学ぶかもしれません。例えば図書館の配架を実際に見学したり、情報端末を使って図書を検索したり、データベースを利用したりなど。キャリア支援課による説明会もあり得ます。

卒業後の進路を考える機会にもなりましょう。

大学生生活を有意義にできるか否かは、大学モードへの切り替えの成否、及び強い自主性・積極性を持てるか否かによります。これまで受動的な学びに慣れてきた皆さんにとって、自分の意見を発表したり、他人の発言を正しく理解したり、それらをレポートや小論文としてまとめるのは大変なことでしょう。しかし、これらは大学生活で避けて通れないことであり、社会に出てからも必要とされる最低限の事柄なのです。入門ゼミでしっかり学び、その後の学修に活かしてください。

2020年度の開講クラス数は21、定員は各20人。各クラスの担当者とテーマは以下の通りです。別途案内する各クラスの概要も併せて参考にし、第1から第7希望まで選び、登録してください。希望者多数のクラスについては抽選を行います。できるだけ多数が第7希望までに入れるよう工夫しますが、どうしても第7希望までに入れない学生が出てしまう可能性があります。その場合は申し訳ないですが、人数に余裕のあるクラスへ大学側で割り振らせてもらいます。あらかじめご了承ください。テーマは色々ありますが、どのクラスも趣旨は「経営学部の『学び』を学ぼう」であり、この目的を達するには自分ならこのテーマがやりやすい、というものを先生方が各自選ばれたにすぎません。どの先生もきちんと指導して下さいますので、仮に第7希望までに入れなかったとしてもそこで腐らず、割り当てられたクラスで「経営学部の『学び』を学ぼう」。

クラス/担当者：テーマ

- 01/山本大造：「働くこと」を通じて、会社の現実を学ぶ
- 02/池田幸典：大学における学びの方法を身につけよう
- 03/石井麻璃絵：自発的な学習の姿勢と共同作業をととしたチームワークの育成
- 04/地村みゆき：大学で学ぶための基礎スキルを身につけよう
- 05/前原裕樹：自身が「最も気になっているコト・モノ」に関する探究的・協同的な学び
- 06/大北健一：興味・関心のある「企業の戦略」について検討してみよう
- 07/土屋仁志：ビジネスプロフェッショナルへの道
- 08/毛利元昭：グループワークとプレゼンを通して情報発信を考えよう
- 09/神頭広好：観光および交通からみた「まちづくり」
- 10/田子晃：最近の気になるニュースについて、グループでプレゼンテーション及びディスカッションを行う
- 11/古川邦之：ゼミ活動で何かオモロイことを考えてくれませんか？
- 12/伊藤清己：会計で将来を予測する
- 13/栗濱竜一郎：発表を通して視野を広げよう
- 14/為廣吉弘：大学レベルで「調べる・読む・書く・議論する・報告する」ためのトレーニング
- 15/富増和彦：企業と環境・社会問題について
- 16/本多毅：大学での「学びの技法」を知ろう
- 17/矢田博士：「読み」のち「書き」時々「ものづくり」
- 18/吉本理沙：持続可能なまちづくり
- 19/粥川和枝：業界研究にトライしてみよう！グループワークで新しい友だちつくろう！
- 20/田中英式：経営学の基礎を学びながら、論理的思考とプレゼンテーション能力をトレーニングしよう！
- 21/武藤明弘：大学の勉強に必要な基本的スキルを確認してみよう

3. 到達目標

大学での学習の準備ができる.

4. 授業形態

演習形式で行う.

5. 使用言語

- 日本語のみ Japanese only
- 日本語と外国語 Japanese and foreign language(s)
- 外国語 (日本語以外) のみ Foreign language(s) other than Japanese

6. アクティブ・ラーニング

- P B L (課題解決型学習) Project-based learning
- ディスカッション, ディベート Discussion, Debate
- グループワーク Group work
- プレゼンテーション Presentation
- 実習, フィールドワーク Applied practice, Fieldwork

7. 授業内容・スケジュール

内容・スケジュールは担当教員によって異なります. 下記は一例です.

- 1回目: イントロダクション
- 2回目: 大学施設の紹介~図書館利用説明
- 3回目: 自分の将来を考える(1)~将来の仕事について
- 4回目: 自分の将来を考える(2)~キャリア支援課のキャリアガイダンス
- 5回目: 自分の将来を考える(3)~アピール材料をどのように作るか: 大学生活で何に打ち込むか
- 6回目: 経営学部で何を学ぶか(1)~経営学部でどのような勉強をするか: 講義とは, ゼミとは
- 7回目: 経営学部で何を学ぶか(2)~大学での勉強の仕方
- 8回目: 経営学部で何を学ぶか(3)~大学での勉強の仕方
- 9回目: 経営学部で何を学ぶか(4)~大学での勉強の仕方
- 10回目: 自主的な勉強とは(1)~企業・産業に関するグループ研究
- 11回目: 自主的な勉強とは(2)~企業・産業に関するグループ研究
- 12回目: 自主的な勉強とは(3)~企業・産業に関するグループ研究
- 13回目: 自主的な勉強とは(4)~企業・産業に関するグループ研究
- 14回目: 自主的な勉強とは(5)~グループ研究プレゼンテーション
- 15回目: まとめ

8. 準備学習・事後学習

準備学習, 事後学習, どちらも担当教員が指示します.

9. 学外授業

担当教員が説明します。

10. 成績評価の方法と基準

平常点で評価します。すなわち日々のレポート、テスト、発表、発言、質問、出席などを勘案した総合評価となりますが、内訳はゼミによって異なります。詳細は授業にて担当教員から説明があります。

11. 定期試験期間中の試験実施方法

定期試験期間中には筆記試験・単位レポートを実施しない。

12. テキスト・参考図書

初回授業にて担当教員が指示します。愛知大学経営学部公式 Web サイト (<https://www.aidai-keiei.com/>)でも確認できます。

13. 関連する科目・履修者への要望など

経営学部での学び方を学ぶという意味で、学部専門科目の全てに関連します。

履修者への要望については、担当教員が説明します。

14. リンク

愛知大学経営学部公式サイト (<https://www.aidai-keiei.com/>)

15. 【レベル1】対面・遠隔の実施形態

- 対面授業
- 遠隔授業 (資料配布・提示型, オンデマンド型)

16. 【レベル2】対面・遠隔の実施形態

- 対面授業
- 遠隔授業 (資料配布・提示型, 又はオンデマンド型)
- 遠隔授業 (ライブ中継型)